

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：私立学校振興費

### 事業名 私立学校等スクールバス利用料支援交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 私学振興・青少年課 私学助成係 電話番号：058-272-1111(内3032)

E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,384 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,384	0	0	0	0	0	0	0	2,384
決定額	2,384	2,384	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・令和4、5年度に、物価高騰に直面する私立学校に子どもが通う世帯を支援するため、燃料価格高騰によるスクールバス利用料の引上げ相当額について、学校法人に補助を行った。
- ・令和6年度においても、燃料価格の高騰が続いており、保護者負担増を抑制することを目的に、学校法人に補助を行う。

### (2) 事業内容

私立学校設置学校法人に対して、利用者数に下記の単価を乗じた額を上限に補助金を交付

- ・幼稚園、小・中・高等学校、専修・各種学校：190円

(3) 県負担・補助率の考え方  
国10/10負担

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
工事請負費		
補助金	2,384	私立学校スクールバス利用料支援交付金
その他		
合計	2,384	

**決定額の考え方**

財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「第3次岐阜県教育ビジョン」における政策の目的
- 3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進
- 19 私立学校教育の振興
  - ・岐阜県の教育における私立学校が果たす役割の重要性に鑑み、私立学校運営の安定と教育条件の維持向上を図るため、引き続き私学助成の推進に努めます。

(2) 国・他県の状況

- ・国は、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金の推奨事業メニューにエネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援を掲げている。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

私立学校助成事務は県の事務であり妥当

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私立学校等スクールバス利用料支援交付金
補助事業者 (団体)	幼稚園 (幼稚園型認定こども園含む。)、小・中・高等学校、専修学校 (高等課程)・各種学校 (小中高等学校教育に準ずる課程のある学校に限る。) 設置学校法人
補助事業の概要	燃料価格高騰によるスクールバス利用料の引上げ相当額に対して補助
補助率・補助単価等	定額 (内容) 幼稚園、小・中・高等学校、専修・各種学校：190円
補助効果	スクールバスを利用する児童生徒の経済的負担の軽減
終期の設定	終期 6年度 (理由) 単年度事業のため

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか スクールバス利用児童生徒のスクールバス燃料費増額分の負担を軽減 (単年度)</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>取組内容と成果を記載してください。</li></ul>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li></ul>	
(評価) 3	燃料価格は大幅に増加しており、必要
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li></ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li></ul>	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業が直面する課題や改善が必要な事項</li></ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"><li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li></ul>
---